

平成 29 年度 事業計画

<基本方針>

英国の EU 離脱、米国はトランプ大統領の就任による TPP 不参加表明、激動する世界情勢の変革と経済の先行きに不透明感が高まる中、日本も依然として景気は足踏み状態にあります。

そんな中、少子高齢社会が進み、労働力人口が減少している中「ニッポン一億総活躍プラン」の実現には、高齢者が「社会の担い手」として、就業を通じ地域の活性化を図ることが必要不可欠となります。加えて、生きがいを持ち、健康維持を図る活力ある高齢者が増えることは、医療費と介護費の削減に期待できます。

市では、今年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」を始めますが、シルバー人材センターも同事業に参画します。

センター理念「自主・自立、共働・共助」に基づき、会員・役職員が一体となり関係機関と連携を強め、中期計画における「会員の拡大」「就業機会の拡大」「適正就業の推進」「安全就業の徹底」及び「財政基盤の強化」を図ります。

高齢者が長年培った知識と経験を生かし、“「生涯現役」セカンドライフを生き活きと！”をキャッチフレーズに、シルバーパワーステーションとして、さらなる飛躍と発展に努めます。

<実施計画>

1 就業開拓提供事業及び受託事業管理事業

- ① 就業開拓部会員により市内事業所を訪問し、センターのアピールも兼ねた就業開拓を行います。
- ② 会員の資格・スキルを勘案し、事務処理に精通したホワイトカラー層の掘り起しを行い、事務や専門知識を要する受注増加を目指します。
各種業界と連携強化を図り、参入できる事業の検討を行います。
- ③ 未就業会員の解消を図るため、長期固定就業の改善や希望職種の意向を把握し、就業率の向上に努めます。
- ④ センター事業の拡大のためには、会員の「口コミ」による新規会員獲得、増強活動の推進に努めます。
- ⑤ 自転車駐車場指定管理者として「気持ちよく利用できる自転車駐車場」を目指し、市内 20 箇所の施設運営を行います。
会員の接遇マナーと資質の向上を図り、会員自身の自主・自立により実践することで利用者サービスの向上に努めます。
平成 30 年度以降、自転車駐車場指定管理業務を確保できるように取組みます。

2 普及啓発事業

- ① シルバー事業の周知を図るため、公共施設と京阪駅にポスターの掲示、駐輪場に看

板の設置、ホームページの充実等、普及啓発に取組みます。

- ② 「シルバーの日」に啓発活動や環境美化活動を行い、地域の街づくりに参加します。

3 独自事業

エコの一環として、牧野東自転車駐車場でレンタサイクル事業を実施し、地域社会に貢献します。

4 研修・講習会事業

技能や知識が必要とされる職種については、各種研修会・講習会を実施します。

5 安全・適正就業推進事業

安全就業の徹底を図り、年間「事故ゼロ」を目指します。

事故原因の分析を行い、安全啓発・パトロールの強化・シルバー便りへの事例掲載・自転車交通安全教室へ参加を通じて、安全意識の高揚に努めます。

適正就業の推進として、ワークシェアリング及びローテーションによる就業機会の公平化を進めます。また、「適正就業ガイドライン」に基づき、発注者及び会員に周知を図ります。

6 調査研究事業

新規事業の取り組みにあたり、適時会員の意向調査を行います。

自転車駐車場指定管理者として、利用者アンケート調査を行い施設運営に反映します。

7 有料職業紹介事業

就業を希望する高齢者に対して、就業情報を提供し職業紹介をします。

8 相談事業

市内在住の60歳以上の入会を希望する高齢者に、月2回入会説明会を行います。

就業を希望する会員に対し、随時就業相談を行います。

9 一般労働者派遣事業

労働者派遣を希望する発注者に対しては、一般労働者派遣事業により対応します。

事業の実施に関しては、事業主体である公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会と密に連携し取組みます。